

日本フランス語学会第 349 回例会発表要旨

2024 年 12 月 7 日開催

上智大学四谷キャンパス

BD 作品における人物名の翻訳

—*Astérix*、*Les aventures de Tintin* をコーパスとして—

東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻

博士課程 1 年 安藤 薫

固有名詞は一般的に「翻訳しない（できない）もの」と考えられており、手を加えずにそのまま TT に移すか、音訳するのが原則とされている。しかし実際には小説などの作品中の固有名詞が翻訳されるケースも少なくない。特に BD や漫画といったコミックス作品においては、多くの固有名詞が翻訳されており、主要な研究対象となっている。

そこで本発表では、*Astérix*、*Tintin* における主要登場人物の英語訳・日本語訳を観察し、固有名詞翻訳に関する通説（「固有名詞は翻訳しないものである」）について再検討したい。さらに BD において固有名詞が果たす機能についても検討し、「なぜコミックスの翻訳において固有名詞が重要な論点となるのか」考察したい。

本発表ではまず、固有名詞の意味について確認し、固有名詞翻訳に関する一般的通説を、先行研究にもとづいて紹介する。そのうえで、*Astérix*、*Tintin* における人物名の英語訳・日本語訳を比較、分析し、固有名詞翻訳の通説を批判的に検討する。最後に BD 作品において固有名詞が果たしうる機能について考察し、固有名詞翻訳の重要性に関する見解を示す。

【主要参考文献】

- Ballard, M. 1998. La traduction du nom propre comme négociation. *Palimpsestes. Revue de traduction*, 11, 199-223.
- Delesse, C. 2015. Proper Names, Onomastic Puns and Spoonerisms. In *Comics in Translation*, 251-269
- Delesse, C. et Richet, B. 2009. *Le coq gaulois à l'heure anglaise. Analyse de la traduction anglaise d'Astérix*. Arras, Artois presses université.
- 今野喜和人 (2014) 「翻訳の< 倫理> の一側面: 固有名詞の訳をめぐる」『翻訳の文化/文化の翻訳』 9, 1-11.